

北海道清水高等学校のホームページを御覧いただき、ありがとうございます。



本校は、昭和9年(1934年)に十勝西部地域の教育に対する大きな期待を担って清水実科女学校として開校し、昭和23年(1948年)の学制改革で北海道清水高等学校となりました。その後の幾多の変遷を経て、平成9年(1997年)に北海道で最初の総合学科に転換し、北海道における総合学科の旗艦高校としての役割を担ってきました。

創立90年余となる本校の卒業生は1万3千人を超え、清水町、十勝はもとより、北海道、日本の各分野で大いに活躍されています。

総合学科の本校では、普通科の学びと職業学科の学びの優れたところを自分で選択でき、生徒一人ひとりの興味・関心、適性等に応じて幅広く柔軟な教育活動を展開できるという特色があります。

本校では、

- ①未来を形にする「社会創造」系列
- ②科学を探究する「科学技術」系列
- ③6次産業を実現する「食品ビジネス」系列
- ④人を大切にする「保健福祉」系列により、特色ある教育活動を行います。

4系列での学習のほかに、少人数による学習指導や進学チャレンジ生の募集等で、生徒の学習意欲を高めています。さらに、地域と連携協働した課題探究型の学習や、ICTを活用して個別・最適で他と協働した学習活動に力を入れるなど、魅力ある教育課程となっています。

課外活動では、アイスホッケー部が過去3度に渡り、インターハイ準優勝に輝く等、全国屈指の強豪校として名を馳せるとともに、産麓クラブが地域食材を使った商品開発・販売活動で地域活性化に貢献するなど、文武にわたり活発に活動しています。

今年度も「自律 探究 創造」の校訓を合い言葉に、生徒たちの「やりたい」の実現のために教職員一同、全力を尽くしてまいります。これからも皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年4月

北海道清水高等学校長 富 永 学